

2年団修学旅行事前指導 パラスポーツ（シッティングバレーボール）体験

令和2年7月30日（木）

2年団は、修学旅行事前指導の一環で、パラスポーツ（シッティングバレーボール）体験を実施しました。

開会式では、学年団長の先生から「パラスポーツについて」説明があり、ネットは高さ約1mとして、紐で固定する等のルール確認・諸注意を行った後、軽く練習をしてから、試合を開始しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止として、出入口や窓を開放し、人との間隔を開け、密にならないよう配慮し、体育館周辺で休憩する時も常にマスクを着用（プレー中を除く）し、体育館に入場の際は、必ずアルコール消毒を実施するなどの対策を行いました。また、熱中症の恐れがあるような場合は、一時的にマスクを外してよいとし、水分補給をする等の対策も行いました。

シッティング（座ったままで、または座ることの意）バレーボールは、床に臀部（でんぶ）の一部が常に接触したまま行うバレーボールといえわかりやすいでしょう。サーブ、ブロック、アタックなどで立ち上がったり、飛び跳ねたりすると反則になってしまいます。ここで「臀部」とは「上体」のことであり、肩から臀部までの部位をいいます。



⑧ 11:05 ~ 23-25 (21-24)
⑨ 11:20 ~ 21-24 (22-25)
⑩ 11:35 ~ 22-25 (21-23)

昼休時
12:10 全員集合 決勝戦

試合	1	2	3	4	5	勝点	得点	順位
1		15-15			20-18			
2	15-15							
3				17-17				
4					17-17			
5	18-20							

体育館では熱戦が繰り広げられました。

また、主審や線審、得点係等の役割分担も生徒を中心に運営され、生徒が主体的に活動していました。



決勝戦



1980年より、シッティングバレーボールはパラリンピックの正式種目となり、そのスピード感と興奮が選手だけでなく見る側の人にも伝わり一緒に楽しめるようになっていきました。1983年には世界選手権も開催されるなど、世界的にも広がっています。

今回の取組みを通して、生徒たちは、体を動かす喜びや楽しみを味わうこととともに、パラスポーツの素晴らしさについても学ぶ機会となったことでしょう。